

和田寺版木

わでんじはんぎ

市指定

所在地：今田町下小野原



牛玉宝印版木

和田寺に「^{ごおうほういん}牛玉宝印」と「^{ひふくまんだら}曳覆曼荼羅」の二種の版木が残されている。牛玉宝印は守り札の一種で起請文の料紙として使用され、曳覆曼荼羅は葬送の際滅罪して成仏を果たさせる道具として使用されたものである。

牛玉宝印版木は裏面に「和田寺」と墨書があり、さらに「応永三十三（1426）十月廿三日」と刻まれている。紀年銘の残る牛玉宝印の版木としては、県下で最も古いものと見られる。曳覆曼荼羅版木は紀年銘はないものの、形式的に見て牛玉宝印版木と同時代に製作されたものと考えられる。

牛玉宝印 長さ105.7cm、幅30cm、厚さ2.9cm。

曳覆曼荼羅 長さ93cm、幅37.2cm、厚さ2.2～1.5cm。